

まつやまの水道



自助・共助・公助で 大地震に備える!

備えましょう ~「飲料水」と「水を運ぶ容器」~

自助

飲料水の備蓄

災害に備え、ご家庭でも日頃から飲料水を備蓄しましょう。備蓄の目安は、**1人1日3リットル、1週間分**です。

計算しよう! 我が家の目安



水を運ぶ容器の準備

給水所から水を持って帰るために容器が必要です。非常用飲料水袋や飲料水用タンクを準備しておきましょう。



飲料水袋やタンクは、ホームセンターなどで購入できるよ!

応急給水栓を整備しています

公助

大きな地震が起ったときに、できるだけ早く水道水をお届けするために、指定避難所になっている小中学校に「応急給水栓」を整備しています。

応急給水栓は、ホースと組み立て式蛇口を取り付けるだけで給水所を開設することができます。現在、10カ所の小中学校に設置しています。残りの小中学校(一部除く)は、年間7カ所のペースで順次整備する予定です。

このほかにも、給水車や仮設タンクなどを使って水をお配りします。



応急給水訓練を実施しています

共助

平成29年度から自主防災組織が実施する防災訓練の中で、給水車や応急給水栓を使った訓練を行っています。



①桑原地区: 防災士の方を中心に、応急給水栓を使った給水所の開設訓練を実施しました。②五明地区: 五明小学校の児童をはじめ、たくさんの方が給水車からの応急給水を体験しました。③潮見地区: 鴨川中学校の生徒も給水車からの応急給水を体験しました。学んだことを積極的に地域の方に教えている姿も見られました。

水の重さを体感! 水が入った容器の運搬体験

応急給水訓練では、水が入った容器を持ち運ぶ体験ができるコーナーを用意しています。20リットルの水が入ったタンクは、かなり重くなります。水を入れても持ち運びができる容器を選ぶことや、持ち帰る方法を考えることも大事です。



運搬体験をした方の声

水が入った容器を家まで持つて帰るのは重くてつらいと感じた。できるだけ給水所に行かなくていいように水を備蓄しようと思う。

キャリーカートを用意するなど、家まで水を持って帰る方法を考えておこう!





経営努力で健全な経営を維持しています

「家計のやりくりで耐震化」の巻



取組1 職員数の削減



取組2 金利が高い借入金の繰上返済や借入金の抑制



取組3 業務の効率化



※現在、浄水場の運転・維持管理業務等を一括して、ヴェオリア・ジェネット株式会社に委託しています。

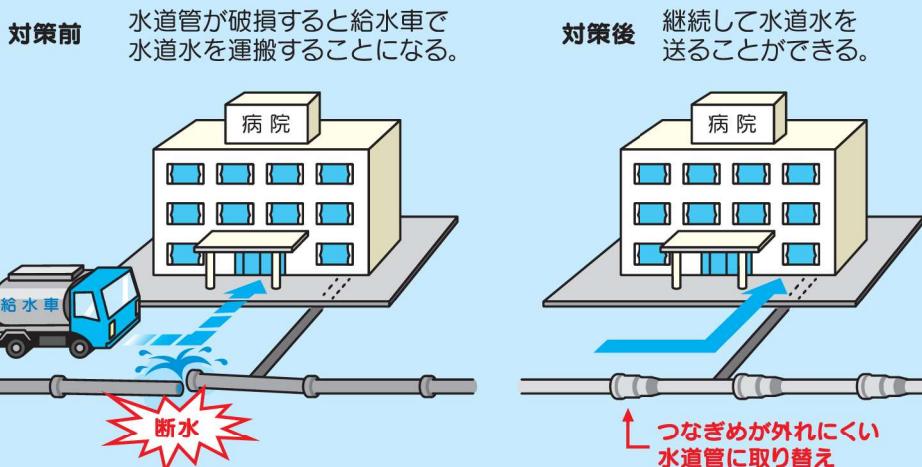
～誤った情報にご注意を!～

民間事業者への委託は、浄水場の運転・維持管理など限られたものであり、水道事業の運営自体を委託しているものではありません。また、民間委託により、水道料金が値上がりすることはありません。

救急医療機関につながる水道管を耐震化しました

災害時も医療活動で使用する水を確保するため、救急医療機関につながる水道管の耐震化を行つきました。今年度で、市内にあるすべての救急病院14か所への耐震化工事が完了しました。

救急医療機関へつながる水道管耐震化のイメージ



災害時も、次の救急医療機関へ水道水を送ることができるようになりました。



奥島病院
野本記念病院
松山城東病院
愛媛県立中央病院
松山赤十字病院
松山市民病院
済生会松山病院
浦屋病院
南松山病院
平成脳神経外科病院
梶浦病院
松山笠置記念心臓血管病院
愛媛生協病院
渡辺病院

※松山市医師会についても、水道管を耐震化する予定です。

平成30年度
水道モニター 募集中
平成30年3月30日 締切

募集対象

- ・年3回程度の懇談会に出席できる人(日曜日に開催)
- ・20歳以上の人 ※親子(小学生に限る)も可

謝礼金 モニター懇談会出席1回につき3,000円

応募方法の詳細

広報まつやま(平成30年3月1日号)
または、市ホームページをご覧ください。

松山市水道モニター

検索

